

Q. 外壁について、ALCの厚みはどれぐらいか。また、防水法、シーリングなどはどういった方法になるのか。海からの距離を考えると、塩害対策がどれぐらい行われているのか。

A. 外壁（ALC）の厚みについては、通常の外壁は120mm、化粧加工した部分は150mmとなっており、仕上げ塗材を施すことで雨水の浸入と劣化対策を行います。また、シーリングについては一般的な版間シーリング（ポリウレタン系）を施し、防水対策としています。施設の露出金属部については、溶融亜鉛メッキ処理を施し、屋外の空調室外機や発電機についても塩害対策仕様としております。